

第13回 サロン時間学

日時：平成28年5月20日（金）13時00分～

場所：時間学研究所 所長室

話題提供者

高橋 肇 先生（山口大学農学部・教授）

【コムギをもっと早く播種したい～どんな品種があればいいの？】

植物の発育は、0～30℃くらいの範囲であれば暖かいほど早く進むため、気温×日数である「積算温度」で評価されます。麦類は、長日植物であり、さらに低温で花成が早まる秋播性という性質があります。

ここ山口では、麦類は11月に播種し、6月の梅雨前に収穫します。11月の播種は、すでに気温が低く畑が乾きにくくなるので雨が降ると播種が難しくなりますが、早く播きすぎると厳冬期前に花芽形成してしまい、凍霜害に遭います。一方で、凍霜害を避けるよう、花芽形成を遅らせると開花期、成熟期が遅れてしまい、梅雨になってからの収穫になってしまいます。収穫物が雨にあたると品質が大きく低下します。

このような問題を日長反応性や秋播性の異なる品種を利用することで解決できないだろうかと研究しています。

「サロン時間学」とは。。。

ヒトの時間、社会の時間、機械の時間、心の時間・・・
この世の、あらゆることから時間と関係しています。
どこにどれだけ「多様な時間の姿」があるのか？
研究の話でも、思いつきでも、突拍子のない考えでも、便乗発言、大いに歓迎！
気ままに、話の赴くままに、お茶を飲みながら語ってみませんか？

飛び入り参加、
途中入退室
OK！

参加自由

